

## 第3回関西スポーツ応援企業表彰 神戸商工会議所が『地域振興賞』を受賞！

神戸商工会議所は、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業等を表彰することを目的に、関西広域連合と関西経済連合会が主催する「第3回関西スポーツ応援企業表彰」において、『地域振興賞』を受賞しました。

当商工会議所では、スポーツ産業の振興を通じた神戸経済の活性化と都市ブランド力の向上を目的に、2017年9月に産学連携組織「神戸スポーツ産業懇話会」（会長：尾山副会長、(株)アシックス会長 CEO）を設立。スポーツに関する様々なテーマによるセミナーや例会、実証事業等を展開し、情報提供やビジネスマッチング、イベントの開催等を通じた企業間交流の促進に取り組んでいます。今般、これらの取り組みが地域活性化に貢献していると評価され、受賞に至りました。

当商工会議所では、今後も神戸スポーツ産業懇話会での活動を中心に、神戸・兵庫におけるスポーツ産業振興、地域経済活性化に向けて取り組んでまいります。

### ■評価された主な取り組み

#### 1. 有馬-六甲 Virtual Ride Race 《観光・自然資源の活用》

- ・スポーツツーリズムの実証事業として、『バーチャルサイクリングイベント「有馬-六甲 Virtual Ride Race」』を2020年より地元観光団体、企業、大学との実行委員会形式で開催。
- ・「有馬温泉-六甲山頂」のヒルクライムコース（リアル）をAR（バーチャル）化。バーチャル空間で実際のコースを体感できるイベントで、コロナ禍をチャンスに変えた取り組み。2020大会は109名（海外50名）、2021大会は171名（海外152名）が参加。
- ・コロナ状況下でも実施可能なバーチャル体験に加え、地元の観光団体×商工会議所×企業×大学との連携を図り、有馬温泉・六甲山のスポーツ（サイクル）ツーリズム振興、及び地域活性化に寄与。

#### 2. 企業交流運動会 in KOBE 《企業間交流の促進》

- ・企業参加型のスポーツイベントで、スポーツ実施率の向上、健康経営の推進、スポーツを通じた企業間の交流促進を目的に開催。毎年150名以上が参加（参加者・応援者）。
- ・2018年、神戸商工会議所創立140周年記念事業として第1回大会を実施。継続開催の要望を受け、2019年以降、地元有志企業、流通科学大学、神戸商工会議所による「実行委員会」で継続開催。
- ・コロナ環境下であることも踏まえ、2020年度と21年度はオンライン形式（Zoom）で開催。約1か月間の運動時間を企業合同のチーム間で競った。
- ・運動会の後は、交流会も開催する等、企業間の交流促進も実施。
- ・事後アンケート調査での満足度も高い。企業間の交流を通じ、地域振興にも大きく寄与。

### ■選考委員会での主な評価ポイント

- ・バーチャルサイクリングイベントについては、神戸の観光・自然資源を組み合わせ、観光（スポーツツーリズム）振興を通じ地域振興に貢献できている点を評価する。
- ・産業界だけでなく、地元の観光団体や大学との連携を図る等、産学連携を通じた非常に良い取り組み。
- ・企業交流運動会については、企業単体ではなく、企業間での交流促進を図るなど、地域経済にとっても良い取り組みである。
- ・いずれの取り組みもコロナの厳しい環境下でも、バーチャル・オンライン形式で実施するなど、足元の状況を踏まえた工夫も評価できる。

### ■添付資料

- ・第3回関西スポーツ応援企業表彰受賞結果

以上

【本件担当】神戸商工会議所産業部 竹下、兵頭

TEL：078-303-5806 E-mail：[t-hyodo@kobe-cci.or.jp](mailto:t-hyodo@kobe-cci.or.jp)

## 第3回「関西スポーツ応援企業表彰」受賞企業の概要・授賞理由について

### 大 賞 (株)紀陽銀行

◇ 本 社：和歌山県和歌山市

◇ 事業内容：銀行業(預金、貸出、有価証券投資、内国為替、外国為替、国債等の売買、代行業務、その他)

#### 【授賞理由】「スポーツを通じた地域活性化、競技力向上、行員の健康増進への支援」

- 長年にわたり、幅広い分野で県内のスポーツ振興等に取り組んでいる。
- スポーツに参加する機会創出を目的に、各種スポーツ大会（ジュニア対象の野球・卓球・駅伝大会等）への協賛や、行員ボランティアの派遣を通じた運営サポート、小学校の体育授業のサポートを継続的に実施するなど、地域スポーツの活性化に貢献している。
- 「2015 紀の国わかやま国体」に向けてバドミントン・ハンドボール選手を雇用し、国体等で活躍する選手を輩出した。また、女子バスケットボールチーム「紀陽銀行ハートビーツ」を2011年に発足させ、県内のバスケットボールの普及促進・競技力向上に貢献している。紀陽銀行ハートビーツは、小中学生を対象にしたバスケットボールクリニックの開催や、施設開放を含む「和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」への協力等を通じ、ジュニアアスリートの支援に貢献している。
- 行内ソフトバレーボール大会（毎年1,000人を超える行員・行員家族が参加）や体力測定会の開催等を通じ、行員の健康づくりと行員・行員家族の親睦・交流を推進している。

### スポーツ振興賞 (公財)滋賀レイクスターズ

◇ 本 社：滋賀県大津市

◇ 事業内容：スポーツ助成金運営、スポーツ情報誌発行、スポーツ（選手）による地域貢献・社会貢献活動、等

#### 【授賞理由】「アスリートの雇用・支援、各種スクール運営等を通じたスポーツ振興」

- 滋賀のスポーツを応援する助成基金「レイクス・スポーツファンド」を運営し、個人、団体、大会主催者の活動に対する助成を実施。突出した競技力を有するアスリートを、助成事業対象者とは別に、所属選手あるいはサポート選手として支援している。
- トップアスリート(陸上、カヌー、ボート)を職員として雇用し、社会人としてのスキルアップを図りつつ、競技活動ができるよう支援している。また、サポート選手のうち、1名は東京オリンピック（ライフル射撃）に出場、1名は東京パラリンピックで銀メダル（トライアスロン）を獲得した。
- 地域におけるスポーツ活動振興のため、幼児～小学生向けのスポーツスクール・教室（陸上、体育遊び、ボート、シーズンスポーツ）やスポーツ体験会、指導者講習会、親子体験教室等を開催している。
- 無料のスポーツ情報誌「レイクマガジン」を毎月5万部発行し、県民に配布することで県内の競技・選手の認知度向上に貢献している。

※備考：(公財)滋賀レイクスターズは、県民の生涯にわたるスポーツ及び文化の普及振興を図るとともに、トップレベルのアスリートを支援する事業を行い、県民の心身の健全な発達、青少年育成への寄与を目的に2009年に一般財団法人として設立（2012年7月、公益財団法人へ移行）。バスケットボールのB1リーグ所属チームを運営する(株)滋賀レイクスターズは2007年8月設立。

## 地域振興賞 神戸商工会議所

◇ 本 社：兵庫県神戸市

◇ 事業内容：会員企業の経営サポート、販路拡大・ビジネス創出、政策提言・意見要望、地域活性化・産業振興、等

### 【授賞理由】「観光・自然資源の活用、企業間交流の促進等を通じた地域活性化への貢献」

- スポーツ産業の振興を通じた神戸経済の活性化と都市ブランド力の向上を目的に、2017年、産学連携による「神戸スポーツ産業懇話会」（会長：尾山副会頭）を設立。スポーツに関する様々なテーマによるセミナーや例会、実証事業等を開催し、情報提供やビジネスマッチング、企業間交流を図っている。
- スポーツツーリズム振興の実証事業として、『バーチャルサイクリングイベント「有馬-六甲 Virtual Ride Race」』を2020年より開催。バーチャル空間で実際の有馬温泉～六甲山頂のヒルクライムコースを体感できるイベントで、コロナ禍をチャンスに変えた取り組み（2021年大会には海外152名を含む171名が参加）。地元の観光団体や会員企業、大学との連携を図ることで、有馬温泉・六甲山のサイクルツーリズム振興、地域の活性化に寄与している。
- スポーツ実施率の向上や健康経営の推進、スポーツを通じた企業間の交流促進を目的に「企業交流運動会 in KOBE」を開催。2018年度に創立140周年記念事業として実施し、翌年以降は、地元有志企業、大学との「実行委員会」形式で継続開催している。コロナ環境下であることも踏まえ、2020年度と21年度はオンライン形式で開催。運動会の後は交流会を開催する等、企業間の交流促進を通じた地域振興にも大きく寄与している

## 健康経営賞 ロート製薬(株)

◇ 本 社：大阪府大阪市

◇ 事業内容：医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売

### 【授賞理由】「全社ウォーキングイベント『とこチャレ』～社員の健康増進に向けた取り組み～」

- 2016年より全社員に活動量計を無料配布し、1日8,000歩・早歩き20分の達成を全社員目標に掲げ、社員の運動習慣の定着を推進。2017年からは全社員のウォーキングイベント「とこチャレ」を実施。チーム戦では10名程度に分かれ、達成率を対抗形式で競い合うことで、社内の健康増進の雰囲気づくりを醸成している。
- コロナ禍に伴う在宅勤務推奨により、社員の健康問題が顕在化する中、スポーツトレーナーによる運動プログラムや管理栄養士による食事指導のオンライン配信も実施。例年実施している体力測定会についても、オンラインでの自己測定を導入し、コロナ禍でも対策をしながら継続実施している。
- 2019年1月、健康社内通貨『ARUCO（アルコ）』をスタート。健康的な生活習慣の実施状況に応じて健康コインを付与。自社が運営するカフェ・レストラン等でのヘルシーランチチケット、心身のリフレッシュを目的とした特別休暇取得等にも利用できる仕組みとするなど、社員の健康維持・増進に向けた工夫を行っている。
- 日本初の「チーフヘルスオフィサー（CHO）」を2014年に設置。これまで、「健康経営銘柄」の選定や「健康経営優良法人（ホワイト500）」の認定等を受けている。

## 特別賞 エール(株)

◇ 本 社：滋賀県大津市

◇ 事業内容：教育事業（安田式遊具の販売、安田式体育指導員派遣/研修会/講演会、造形素材・KAPLA 販売等）、食育事業（無添加無農薬ケール 100%青汁・100%人参の販売等）、環境事業（衝撃吸収人工芝の販売、園舎・園庭の設計等）

### 【授賞理由】「体育遊びを通じた子供たちの心身の健康サポート」

- 1995 年創業。幼少期の熱中できる体育遊びが脳と心とからだを育む基本であるという理念を元に設計された教育用遊具「安田式遊具」を販売。遊具だけでなく、体育遊びを楽しく熱中できるようにする指導法の普及を図るため、体育指導員を派遣している。遊具と指導法からなる安田式は国際著作権も取得しており、納入実績は3,300 園。
- 2017 年、e-ラーニング「がんばりまめ.com」をスタートし、体育遊びのメソッドをいつでも、どこでも学べるサービスを提供（先生方や幼稚園等のニーズに応じた柔軟なサービスを提供）している。2020 年には WEB 研修会を開始しており、コロナ禍でも視聴が可能。人手不足に悩む幼保業界では、WEB の方が参加しやすく、時間・交通費等のコスト抑制に加え、先生方の理解促進にも貢献している（年間50 回開催）。
- 2021 年、（公財）滋賀レイクスターズと共同で「滋賀レイクスターズ体育遊びスクール」を開校。本社併設の遊びの施設「がんばりまめの杜」で、遊具を活用した安田式体育遊びが実践可能。週1 回開催しており、スクール生の幼児や小学生の成長に寄与している

## 「関西スポーツ応援企業表彰」の概要

### (1) 表彰制度の目的

従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業、および、健康経営の実践による従業員の健康維持・増進に取り組んでいる企業等を「関西スポーツ応援企業」として表彰し、広く周知することにより、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツへの参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指す。

### (2) 実施主体

主 催: 関西広域連合、関西経済連合会

共 催: 関西スポーツ振興推進協議会

特別協力: ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

### (3) 表彰対象

関西の2府8県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、三重県、福井県）に本社・支社または、事業所が所在する企業、社会法人、財団法人、学校法人等

### (4) 各賞の評価の視点

スポーツ振興賞	スポーツ振興への取り組みを評価。特に継続性や独自性、参加者数を優位に評価する。
地域振興賞	スポーツを通じた地域貢献への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性を優位に評価する。
健康経営賞	自社社員の健康増進のためにスポーツの実施促進への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性、参加者数または社内への浸透度合いを優位に評価する。
特別賞	大賞と上記3賞以外の企業から、「特徴のある取り組み」を評価。特に企業規模が小さい企業を優位に評価する。

### (5) 選考委員会 委員（委員は氏名五十音順）

委員長 山口 泰雄（流通科学大学特任教授、神戸大学名誉教授）

委員 伊坂 忠夫（大学スポーツコンソーシアム KANSAI 会長、立命館大学副学長・スポーツ健康科学部教授）

委員 唐津 肇（関西広域連合スポーツ部長）

委員 奥野 史子（アスリートネットワーク副理事長、バルセロナオリンピック アーティスティックスイミング ソロ・デュエット銅メダリスト）

委員 野崎 治子（関西経済連合会スポーツ振興委員長）

委員 中塚 則男（ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局長）

委員 柳本 晶一（アスリートネットワーク理事長、アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督）

以上